

令和5年 10 月 16 日
記者発表資料

神奈川県交通死亡事故多発警報を発表します

県内では、10 月に入り、交通死亡事故が多発し、10 月7日から 13 日までの7日間で7件発生しています。

そのため、令和4年7月 11 日から運用を開始している「神奈川県交通死亡事故多発警報」の発表基準に該当したことから、本日付で同警報を発表します。

なお、運用開始後、警報の発表は、初めてとなります。

1 警報期間

令和5年 10 月 16 日(月)から 10 月 22 日(日)までの7日間

2 該当する発表基準

7日間で7件以上の交通死亡事故が発生したとき

3 主な推進事項

- (1) 交通事故実態にあった交通事故防止対策の強化(県警察)
- (2) PTA 会議などにおける広報啓発(県、市町村、教育委員会)
- (3) 道路標示板等による広報啓発(県警察、市町村、道路管理者)
- (4) 各地区(事業所)への交通安全活動(交通関係団体)
- (5) ホームページ、SNS並びにイベント等を活用した広報(共通)

4 啓発内容

- (1) 横断歩道は歩行者優先

横断歩道を歩行者が横断している時や横断しようとしている時は、必ず手前で止まりましょう。

- (2) 交通ルールへの遵守と自転車乗車用ヘルメットの着用

交通ルールを遵守するとともに、自転車を利用するときは、自転車乗車用ヘルメットを着用しましょう。

- (3) ヘルメット、プロテクター等の着用

二輪車を運転するときは、速度を控えるとともに、ヘルメットを正しく着用し、プロテクターや

エアバッグを身に着けましょう。

5 参考

【交通死亡事故発生概況】

	発生日	発生場所	事故形態	死者数
1	10月7日	足柄下郡湯河原町(県道)	大自二(41歳)が普乗に衝突	1名
2	10月7日	川崎市川崎区(市道)	自転車(92歳)が単独転倒	1名
3	10月9日	横浜市瀬谷区(県道)	軽四貨が歩行者(78歳)に衝突	1名
4	10月11日	横浜市鶴見区(国道)	準中貨が横断歩行者(80歳)に衝突	1名
5	10月12日	藤沢市片瀬海岸(国道)	大自二が縁石に衝突(同乗者19歳)	1名
6	10月13日	小田原市高田(県道)	軽四貨(45歳)が大貨に追突	1名
7	10月13日	茅ヶ崎市中海岸(国道)	普乗が転回時、大自二(28歳)と衝突	1名

【神奈川県交通死亡事故多発警報実施要綱】(抜粋)

1 根拠

神奈川県交通安全対策協議会規約第13条

2 発表基準

以下のいずれかに該当したとき。

- (1) 7日間で7件以上の交通死亡事故が発生したとき。
- (2) その他、交通事故情勢を勘案し、神奈川県交通安全対策協議会交通安全部会長(県くらし安全防災局長)が発表する必要があると認めたとき。

3 期間

発表時に定める。ただし、原則7日間とし、最大7日延長することができるものとする。

問合せ先

神奈川県くらし安全防災局くらし安全部くらし安全交通課

課長 本田 電話 045-210-3550

企画グループ 岡部 電話 045-210-3552

交通死亡事故多発警報の発表に伴う知事メッセージ

本県では、交通死亡事故の増加に歯止めをかけるため、昨年7月から、7日間で、交通死亡事故が7件発生した場合、「交通死亡事故多発警報」を発表し、注意を呼び掛ける制度を運用しています。

本県の交通死亡事故は、本年10月に入り増加しており、交通事故により亡くなられた方は、11人に達し、厳しい状況が続いております。

特に、10月7日から10月13日までの7日間の死亡事故は7件となり、この警報の基準に達しました。

そこで本日、本制度運用後、初めて「交通死亡事故多発警報」を発表し、県警察や市町村、教育機関などの関係機関と連携し、交通事故防止の呼びかけを強化することとしました。

これから年末にかけて、例年、交通事故が増加する傾向にあります。

特に、日照時間が短くなるため、帰宅時間帯に歩行者が交通事故に合うケースの他、二輪車による事故も増加します。

歩行者の皆さんは、「横断する意思を明確にし、横断歩道を渡る」「歩きスマホはしない」など、県が推奨する「神奈川歩行者安全五則」の徹底に努めてください。

また、ドライバーの皆さんは、時間にゆとりをもった運転を心がけ、早めのライトの点灯や、交差点の安全確認など、歩行者保護の徹底をお願いします。

県民総ぐるみで交通安全に取り組み、交通死亡事故の発生しない、安全で安心な神奈川県を目指してまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

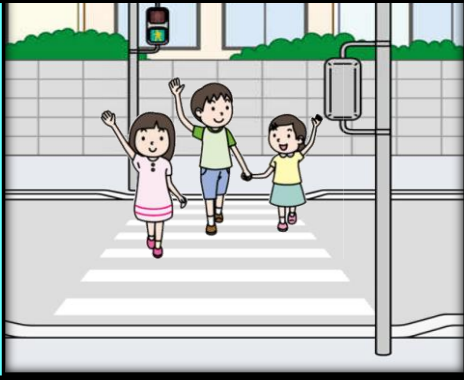
令和5年10月16日

神奈川県知事 黒岩 祐治

神奈川歩行者安全五則

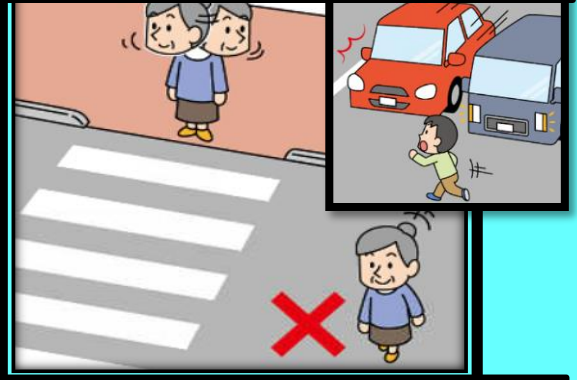
～歩行者もルール・マナーを守りましょう！～

①横断する意思を明確にする！



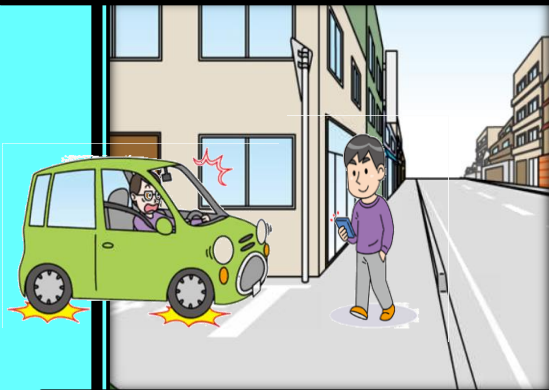
横断歩道では、手を上げるなどをして運転者に対し、横断する意思を明確に伝えましょう。

②横断歩道を渡る！



横断歩道外の横断や車両の直前直後の横断など、無理な横断はやめ、横断歩道を渡りましょう。

③歩きスマホはしない！



歩行中は、わき見の原因となるスマホなどを注視することがないようにしましょう。

④危険な踏切横断はしない！



踏切は、警報機が鳴ったら渡らない。遮断機を跨がない、くぐらないことを徹底しましょう。

⑤反射材を身に着ける！



薄暮や夜間には、光の反射で存在を示すことができる反射材を身に着けましょう。

 **神奈川県**
交通安全対策協議会

安全は
心と時間の
ゆとりから